

臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。
本研究は、該当する患者さんの診療情報を用いて実施する後ろ向き観察研究であり、通常の診療以外の特別な検査や治療は一切行われません。
研究の内容についてご不明な点や、ご自身の情報の利用を希望されない場合は、下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。

【研究課題名】

外来診療における薬剤師外来の導入効果に関する後方視的観察研究

A Retrospective Observational Study on the Impact of Outpatient Pharmacist-Led Services in Ambulatory Cancer Chemotherapy

【STUDY名】

SOPHIA Study (Study On Pharmacist-led Healthcare Intervention in Ambulatory care)

【研究責任者】

独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センター
薬剤部 副薬剤部長
井上 裕貴

【研究の目的】

外来診療において、薬剤師が診察前に患者さんの副作用や服薬状況を確認し、処方提案を行う「薬剤師外来」の導入が、診察後に生じる処方修正や追加処方を減少させ、外来滞在時間や治療待ち時間の短縮につながるかを検証することを目的としています。

本研究を通じて、外来化学療法における診療体制の改善と、患者体験の質向上、医療スタッフの負担軽減に寄与することを目指します。

[研究の対象となる方]

2022年4月1日～2025年8月31日の期間に、当院外来で抗悪性腫瘍薬の点滴化学療法を受けた患者さん。

[研究期間]

倫理審査承認日～2026年3月31日

[利用する情報]

本研究では、以下の通常診療で得られた情報のみを使用します。

- 年齢、性別
 - 診断名、がん種、病期
 - 化学療法レジメン、投与スケジュール、治療コース数
 - 有害事象の記録(CTCAE評価)
 - 治療中止・延期の有無
 - 外来滞在時間、治療待機時間
 - 薬剤師外来の実施有無、介入内容、処方提案とその受容状況
-

[個人情報の取扱い]

使用する情報は、すべて匿名化されたうえで研究に利用されます。
氏名、住所、診療録番号など、個人を特定できる情報が研究成果として公表されることは一切ありません。
研究データは研究責任者が厳重に管理し、外部機関へ提供されることもありません。

[研究への参加を希望されない場合]

本研究でご自身の診療情報が利用されることを希望されない場合は、下記【問い合わせ先】までご連絡ください。

ご連絡いただいた方の情報は、本研究には使用いたしません。

また、研究への参加をお断りされても、今後の診療に不利益が生じることは一切ありません。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センター

薬剤部

研究責任者:井上 裕貴

TEL:0532-63-0301(直通)

E-mail:hirotaka.inouoe.mj@mail.hosp.go.jp